

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この商品には、別紙「自転車共通取扱説明書」に加え、特殊な機能、注意事項がございます。あらかじめ、「自転車共通取扱説明書」および「専用取扱説明書」（本冊子）の両方を必ずお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



お子様が自転車を使う場合は、事前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と危険なこと、してはいけないことをよく指導してください。不適切な取り扱いや調整は人身事故につながる危険があります。警告・注意・禁止・強制事項は必ずお守りください。

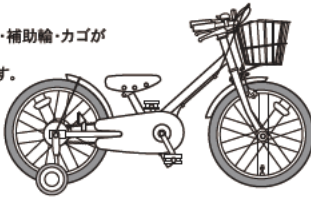
目次

- 1) セット内容 P1
- 2) 各部のなまえ P1
- 3) 組み立て方法 P2
- 4) 各部の調整方法 P2~3
- 5) 長くご愛用いただくためのコツ P4
- 6) 故障かな?と思ったら…トラブルシューティングー P5~6

1) セット内容 … 必ずご確認ください。

①自転車本体

※ハンドル・ペダル・補助輪・カゴが外された状態で梱包されています。



②共伸びサイクル

専用取扱説明書（本冊子）



③品質保証書付

自転車共通取扱説明書

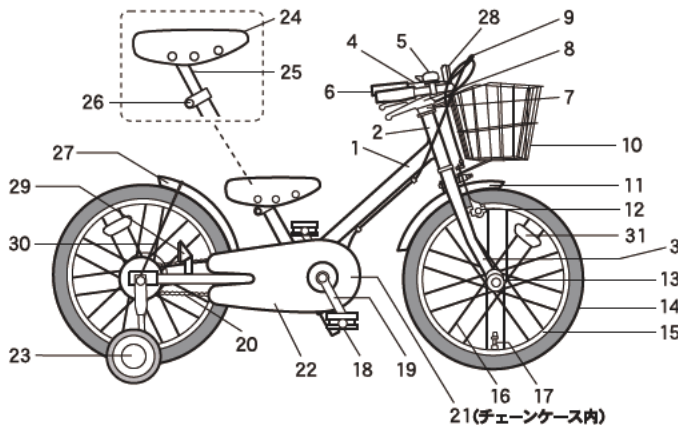


※お買い上げ店様によって一部組み立てられている場合があります。
※組み立てに必要な工具は付属していません。ホームセンター等でお求めください。
※本商品にカギ・スタンド・ライトは付属されておりません。必要な方は別途ご購入ください。

※商品は、品質向上のための変更や車種の違いにより、写真・イラストと多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

2) 各部のなまえ

No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	フレーム	14	タイヤ	27	泥よけ（後）
2	ヘッドチューブ	15	リム	28	フロントリフレクター
3	フロントフォーク	16	スポーク	29	リアリフレクター
4	ハンドル	17	タイヤバルブ	30	フェンダーステー
5	ベル	18	ペダル	31	スポークリフレクター
6	グリップ	19	クランク		
7	ハンドルポスト	20	チェーン		
8	ブレーキレバー	21	チェーンリング		
9	ブレーキワイヤ	22	チェーンケース		
10	前カゴ	23	補助輪		
11	泥よけ（前）	24	サドル		
12	前ブレーキ	25	シートポスト		
13	ハブ	26	シートピン		

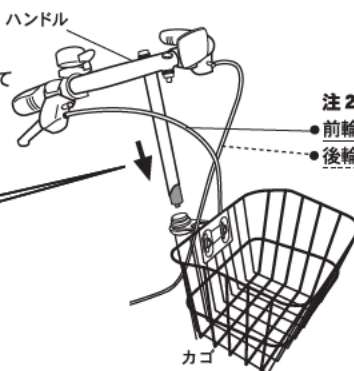
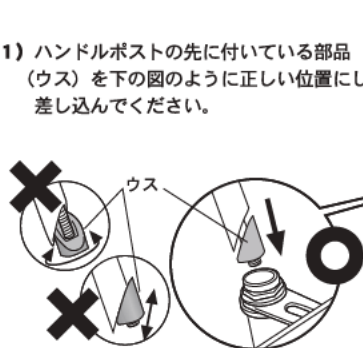


3) 組み立て方法 (お買い上げのお店によって組み立てられている場合があります)

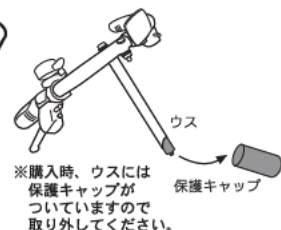
1 箱からとり出し、梱包材をはずします。

2 ハンドルを差し込みます。(固定は、③でサドルとハンドルの調整時に行います)

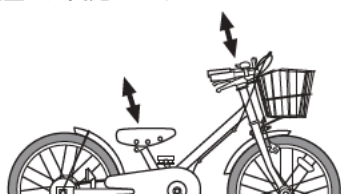
注1) ハンドルポストの先に付いている部品(ウス)を下図のように正しい位置にして差し込んでください。



注2) 図のように、
●前輪ブレーキワイヤが
●後輪ブレーキワイヤの
上に交差するように取り付けます。



3 自転車共通取扱説明書P5の説明に従い、体型に合わせてサドルとハンドルの高さを調整し、固定してください。



4 使用状態完成



乗車前には必ず保護者の方が正しく固定されているかを確認してください。



4) 各部の調整方法

■補助輪の調整・着脱■

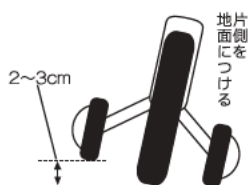
●補助輪を着脱する時には、右記のどちらかの工具が必要です。ご用意ください。



●補助輪の調整には、アーレンキーをご用意ください。

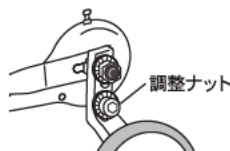


補助輪の調整方法



補助輪は、片側の補助輪を地面につけた時に、もう一方が地面から2~3センチ浮いているのが正常な取り付け位置です。地面についている場合や、左右の高さが異なっている場合は調整してください。

【調整方法】



後輪軸の下にある調整ナットをゆるめてください。補助輪が上下にスライドして高さを調整できるようになります。調整後はナットを締めて補助輪にガタ付きがない事を確認してください。

補助輪の着脱

●補助輪の着脱は自転車店等でご相談ください(有料の場合があります)。

スタンドの取り付け

●補助輪を外した後、スタンドが必要な時は、自転車店等でご購入・取り付けを行ってください(有料)。

■ライトについて■

本商品にはライトが付属していないため、将来補助輪を外し、夜間及び暗い所を走行する時は、必ずライトを装備し、点灯するようにしてください。

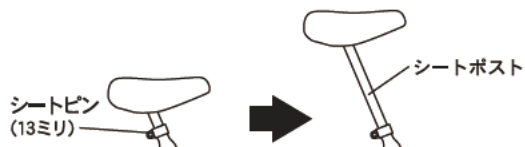
※ライトは、ハンドルに取り付ける前照灯タイプのものをお買い求めください。
※形状によっては取り付けられないものもありますので、購入時に自転車店にご相談ください。

■サドル・ハンドルの調整■

この商品は、お子様に長く快適に乗り続けていただくため、ハンドルとサドルに特別な調整が必要です。

サドルの高さ調整

●両方の足先が確実に地面につくように調整してください。



※サドルの固定方法については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

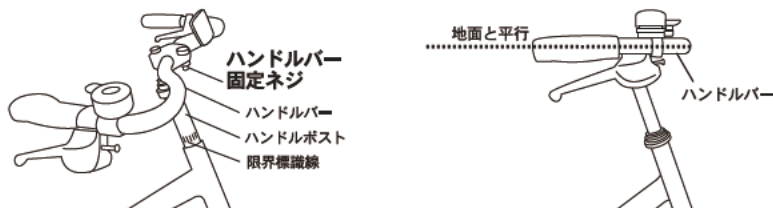
	適正身長	サドル地上高さ
18インチ	約100cm (4歳)	約45cm
	約135cm (9歳)	最大まで伸ばす



- シートポストは限界標識線が見える所で固定しないでください。(自転車共通取扱説明書P2参照)
- ボルトの固定が不十分だと危険です。しっかり固定してください。

ハンドルの調整

ハンドルバー固定ネジを緩め、ハンドルバーの角度を「地面と平行」になるよう調整してください。調整後、固定ネジを元通りしっかり締め固定します。



※ハンドルの「高さ」調整については「自転車共通取扱説明書」P5を参照してください。

※ハンドルバー固定ネジを調整する際、ハンドルポストを限界まで伸ばした状態で行なうと作業がしやすくなります。

※上記以外の角度で固定すると、ハンドル操作が難しくなりブレーキも効かなくなる恐れがある為危険です。

5) 長くご愛用いただくためのコツ

1 保管場所 ----- 長く、きれいに乗っていただくために。

●屋内で保管していただくのがベストですが、やむを得ず屋外に保管される場合は、市販の「サイクルカバー」をご使用ください。1週間に一度はカバーを外して中の湿気を取ってください。



錆び易い場所（雨のかかるところ・海岸付近・浄化槽付近・湿気の多いところ・工事現場や金属加工場の近く）での保管はお止めください。



こんなことも錆びの原因になってしまいます。

- ・サイクルカバーをかけっぱなしにする。
- ・焚き火の煙がかかる。
- ・ジュースなどの飲料水がかかったまま放置する。



直射日光や高温になる場所での保管は、変色の原因になってしまいますのでお止めください。

2 簡単にできるメンテナンス -----1ヶ月に一度程度行うことで、更に快適に、長くお使いいただけます。

●塗装部（フレーム、チェーンケース）のお手入れ----

乾いた布でよくふき、自動車のワックスをかけ、乾いた布でよくふき取ってください。

●メッキ部（ハンドル・シートポスト・スポーク等）のお手入れ----

乾いた布で汚れをふき取り、「錆び止め油」か「機械油」を塗った後、余分な油をふき取ってください。

●錆び易い場所（上記1保管場所参照）に置く場合は、お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

●雨など水に濡れたときは、乾いた布で水気を取り、よく乾燥させた後、自転車共通取扱説明書「6）お手入れと保管」をご参照の上、注油してください。



傷がつくと特に錆び易くなります。お手入れの回数を2週間に一度程度に増やしてください。

3 重大な故障になる前の点検チェック

●ブレーキはきちんと作動しますか？




ご使用を続けていると、ブレーキを操作するワイヤは少しずつ伸びて、ブレーキの効きが悪くなっていきます。自転車共通取扱説明書「4）各部の取り扱い方と調整方法」をご参照の上、常にブレーキが効くように調整してください。

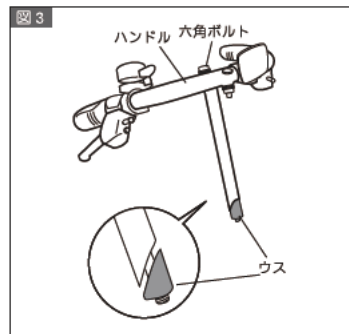
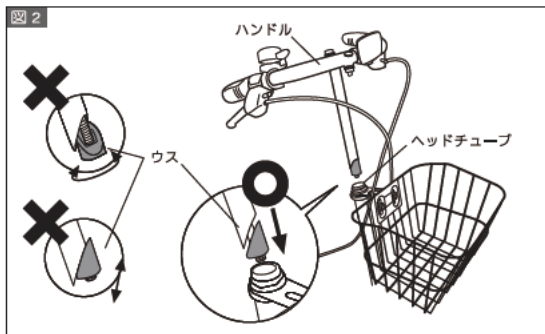
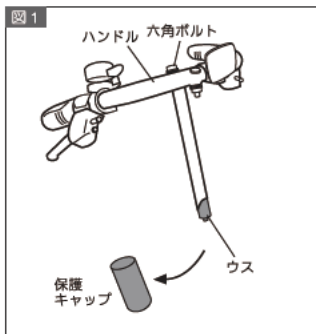
4 定期点検を必ず受けて安全な状態を保つようにしてください。

6) 故障かな?と思ったら…トラブルシューティング




※お店にお問い合わせになる前に点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店様にご相談ください。

●組み立てについて

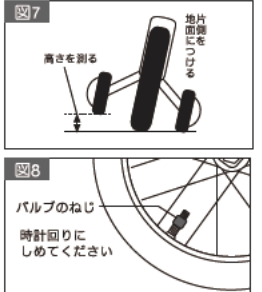
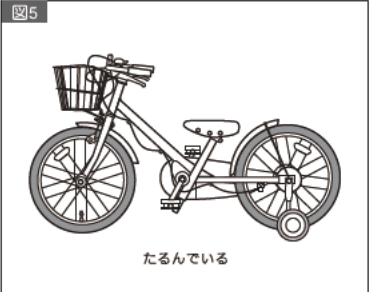
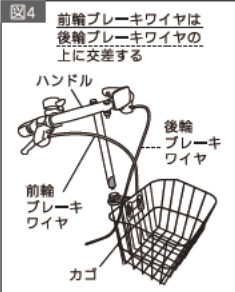
症状	チェック項目	判定	対処方法
① ハンドルを ヘッドチューブに 差し込めない	ハンドルポスト先端の保護 キャップを外しましたか? 		保護キャップを外してからヘッドチューブに差し込んでください。
	保護キャップがついた ままになっていた。 ----- 保護キャップは外した。 ↓ さらにチェック! ウスは正しい位置にありますか? 		
② ハンドルを固定する 六角ボルトを締めこんでも、 ハンドルが固定できない	ハンドルポストの先端に ウスは付いていますか? 	六角ボルトを緩めすぎて、 ウスが車体内部に落ち込んで いる可能性があります。	車体をさかさまにしてウスを取り出し、ハンドル ポストに取り付けて、本冊子の「(3) 組み立て方 法」をもう一度良くお読みの上、再度組み立てて 行ってください。



●その他

症状	チェック項目	判定	対処方法
① 後輪から「キーキー」 音がする	ハンドルまわりのブレーキワイヤは正常 に配置されているか確認してください。 	ワイヤが引っ張られてブレーキがかかりっぱなし になり、キーキー音が発生している可能性があり ます。	P2の「(3)組み立て方法」をもう一度良く お読みの上、再度ハンドルの組み立てを 行ってください。
	ブレーキワイヤの配置が正常でない。 →		
	ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック! 車体のブレーキワイヤは正常に配置されて いるか確認してください。 	図5のように車体を通るブレーキワイヤがたるん だ状態になると、ワイヤが引っ張られてブレーキが かかりっぱなしになり、キーキー音が発生している 可能性があります。	たるみをなくすよう ワイヤを整えてください。 
	ブレーキワイヤの配置が正常でない。 →		
お買い上げいただいた直後 (一週間以内のご使用)ですか?	ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック!	ブレーキワイヤは、一週間程度ご使用いただく間 に、少しずつワイヤが伸びていきます(「初期伸び」 と言われる全てのワイヤが持つ性質で、不良では ありません)。ブレーキワイヤはあらかじめ少しき つめに引っ張られた状態で製造されており、その せいで常にブレーキが少しかかった状態になって いる可能性があります。	初期伸びをわざと起こさせるため、 ブレーキレバーを両手で強く、10回 程度握ってください。 改善されない場合は下記のチェッ ク項目へお進みください。
一週間以内のご使用の場合。 →			
お買い上げいただいた一週間以上 使用の場合。 ↓ さらにチェック! 乾燥した場所に置いてしばらく放置してください。	ブレーキワイヤの配置が正常。 ↓ さらにチェック!	雨の日や湿度の高い日に、湿気によってブレーキ がこすれ、音が発生することがあります。湿気が とれると解消されますので、乾燥した場所に置い てしばらく放置してください。	お買い上げ店様にご相談ください。
キーキー音がなくなった。 →			
キーキー音がなくなる。			

<p>② 補助輪が地面から浮いている</p>	<p>片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から浮いている高さを測ってください。 図7</p> <p>2~3cm浮いている。 → 正常な状態です。</p> <p>4cm以上浮いている、または両補助輪とも地面についている。 → 片側の補助輪を地面につけ、もう一方の補助輪が地面から2~3cm浮いているのが正常な状態です。補助輪が浮きすぎているのも、<u>2つの補助輪が接地しているのも調整不良です</u>（カーブを曲がりにくくなり、危険です。）</p>		<p>P2「4」各部の調整方法」をご参照の上、調整してください。</p>
<p>③ 前輪リムが汚れている</p>	<p>→ 正常です。</p>	<p>前輪リムは、ブレーキゴムが接触してブレーキを 작동させる役割があるため、ご使用いただくと必ず汚れます。汚れが気になる場合は、市販の「ブレーキクリーナー」をお使いいただくと、比較的きれいに掃除できます。ブレーキクリーナーは自動車用品店や自転車店、ホームセンターでお求めいただけます。</p>	
<p>④ バンクかな?と 思ったら</p>	<p>「バルブ」のねじを確認してください。 図8</p> <p>バルブのねじが緩んでいる場合。 → 緩んだバルブから空気が抜けてしまっただけで、パンクではありません。</p> <p>バルブのねじが緩んでいない場合。 ↓ さらにチェック!</p> <p>タイヤに空気を入れて、一日放置し、空気が抜けていないか確認してください。</p> <p>空気が抜けてしまう場合。 → チューブに穴があいてパンクしていると思われます。</p>		<p>バルブのねじを手で時計回りに締めた上で、再度空気を入れてください。</p> <p>お買い上げ店様にご相談ください。 (お客様の責任によるパンクの場合は有料になります。)</p>



People

発売元 ビーブル株式会社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 2-15-5 VORT東日本橋

●商品のお問い合わせはお客様相談係まで TEL 03 (3862) 3739 ※電話受付時間：月～金（祝日を除く）10:00～12:00・13:00～16:00

FAX 03 (3862) 3730

●ビーブルホームページ……<https://www.people-kk.co.jp/>

生産物賠償責任保険付